

建築研究所ニュース



平成 21年 9月 11日

「持続的社会的のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」 オープンセミナーの開催について

独立行政法人建築研究所では、「持続的社会的のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」オープンセミナーを開催いたしますので、お知らせいたします。

- 日 時： 平成21年9月18日（金） 9：00－18：00
場 所： 東京大学生産技術研究所コンベンションホール
（東京都目黒区駒場 4-6-1）
主 催： 独立行政法人建築研究所、日本免震構造協会、東京大学生産技術研究所
定 員： 200名
参加費： 無料
備 考： 日英同時通訳あり

昨年の中国四川地震では、死者・行方不明者8万7千人以上、約650万棟の建物が倒壊するという甚大な被害となりました。世界では、依然として地震により多くの被害が発生しています。地震に対して建築物を安全かつ長寿命化することは、持続可能な社会の実現にとって必要不可欠です。

セミナーでは、日本、米国、中国、台湾、イタリア、アルメニア、イランの研究者や技術者により、各国における免震・制振技術の応用事例や最新の研究成果が報告されます。また、講演のあとには、会場の参加者を交えた協議を行い、持続的社会的の実現と免震・制振技術の普及に関する提言を取りまとめます。

詳細な内容やお申込み方法につきましては専用ホームページ

<http://www.cibw114.net/symposium2009/index-j.shtml> をご覧ください。

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 国際地震工学センター
氏名 齊藤大樹
電話 029-864-6751（直通）
E-mail tsaito@kenken.go.jp

「持続的社会的のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」
オープンセミナー・プログラム

9月18日（金）

- 9:00-9:30 開会式
開会挨拶 西川孝夫（日本免震構造協会会長）
村上周三（建築研究所理事長）
川口健一（東京大学生産技術研究所）
- 9:30-10:00 「持続的社会的における免震構造の役割」
Stephen A. Mahin（米国、カリフォルニア大学、教授）
- 10:00-10:30 「中国における最近の免震構造の発展と応用」
Fu Lin Zhou（中国、広州大学、教授）
- 11:00-11:30 「四川地震後の制振補強の現状」
Xilin Lu（中国、同済大学、教授）
- 11:30-12:00 「イタリアおよび周辺国の免震建築の事例」
Alessandro Martelli（イタリア、科学エネルギー庁、教授）
- 12:00-12:30 「アルメニアにおける免震建築の成功事例」
Mikayel G. Melkumyan（アルメニア、アメリカ大学、教授）
- 13:45-14:15 「制振ダンパーを用いた実大建築物の振動台実験および解析」
笠井和彦（東京工業大学、教授）
- 14:15-14:45 「台湾の免震・制振建築物の現状」
Shiang-Jung Wang（台湾、国立地震工学センター）
- 14:45-15:15 「応答制御建築物の安全性とダンパーの限界状態」
Kit Miyamoto（米国、Miyamoto International, U.S.）
- 15:45-16:15 「免震技術の歴史的側面について」
Ahmad Naderzadeh（イラン、Imensazeh Company）
- 16:15-16:45 「持続可能社会における新しい耐震設計技術」
和田 章（東京工業大学、教授）
- 16:45-17:45 パネルディスカッション
テーマ：持続的社会的における地震応答制御技術の役割
- 18:00 閉会式